

NiiGATA

生涯学習にいがた

No. 27
2000.10



平成12年度 新潟ふるさと学

新潟ふるさと 民俗芸能講座(第2回)

期 日：平成12年 8月26日 (土)

会 場：新潟県立生涯学習推進センター

テーマ：海が運んだ芸能

講 師：新潟大学人文学部

池田 哲夫 助教授

- 佐渡で生まれた鬼太鼓・春駒・文弥人形などについて、ビデオ映像とともに講義。
- 佐渡・金井町の佐渡地域視聴覚ライブラリーを副会場として、TV会議システムを使った遠隔学習講座としても実施した。

(写真のスクリーンの映像は、

右：新潟会場へ送信された、副会場の参加者の様子

左：佐渡会場へ送信された講師の映像)

コラム

公民館と地域づくり

所長 渡邊 正親

月刊「公民館」の六月号に「公民館の多角化戦略」という特集で、ひとこと提言が掲載されていた。

『学習手形とエコマネーの発行』『浴場付き公民館を』『HM法とバリア・フリーで発想しよう』……と沢山のアイデアと実践例が挙げられている。『多角化戦略』とは、多様化する住民のニーズをかなえてあげたいという行政側からの発想である。公民館職員が、住民の主體的な学びや活動を尊重するなら、むしろ公民館の個別化と言うべきであろう。

ところで、新潟県の公民館の現状は、本館・分館合わせて六七四館あるうち全県平均の人的体制は本館で二・二九人、分館で一・五七人である。これでは公民館の多角化をしようにも職員の対応が追いつかず、公民館主事さんは日々の業務に追い掛けられ『多角化戦略』どころではない。

最近、学社融合や地域づくりの動きが県内のあちこちに見られるようになってきた。子ども達が歩いて通える校区エリアを、地域コミュニティーの単位として捉え、この地域コミュニティーの充実を目的としているものが多い。

これらの活動と合わせて公民館活動をより生き生きとしたものにするには、住民の参画する『多角化戦略』がこれからの生涯学習を展開する上で重要になってくる。公民館と地域住民とのパートナーシップに基づく『多角化戦略』に期待したい。

特集

県内の特色ある生涯学習の実際

応援します。あなたの子育て

～新井市子育て支援ホームページ～(新井市保育福祉課)

バブバブ・ワオのトップページ



支援計画に基づき作成

社会現象として少子化が進行する中、当市でも、子どもを安心して生み育てられる環境づくりを進め、少しでも少子化を打開しようとして、平成10年度に子育て支援計画を作成。その中の一つに、情報提供体制の整備が上げられています。これまで、当市の子育てに関する情報については、市の広報紙やお知らせ版、保育園だよりなどを通じて紹介してきました。しかし、実際には、「保育園の入園手続きは?」「予防接種はいつ」「児童手当

当って、どうすればもらえるの」などの問い合わせが多く寄せられていました。

作成は市民グループ

そこで、二十四時間対応可能な情報発信手段ということで、ホームページの検討が始められました。しかし、ホームページ作りにかかる予算も知識もありませんでしたので、苦慮していたところ、新井市公式ホームページを作成した市民ボランティアグループ「AI(アイ)プロジェクト」(以下AI)が制作協力を引き受けてくださいました。(わずかな謝礼で)

また、新井市で独自サーバーを取得していただくことから、その空きスペースを使用することで新規の継続的な負担がないことから、話は一気に

バブバブ・ワオの特徴

- ①保育園入園申込書や児童手当申請書等の様式を掲載
- ②生年月で、予防接種や検診の日程検索が可能
- ③離乳食のレシピを紹介
- ④市内の子育てサークルの活動を紹介
- ⑤利用者がネット上で情報交換ができる掲示板を公開
- ⑥新井市子育て支援計画を紹介(PDF形式)

アドレス<http://www.city.arsu.niigata.jp/bubwow/index.html>

に進みました。

AIとの何回かの打ち合わせの結果、担当課だけでなく、教育・保健・福祉の子どもに関する分野を横断的に紹介できる内容とすることに決定。約一カ月後、ついに子育て支援ホームページ「バブバブ・ワオ」が完成し、六月から公開されました。

不安の受け皿拡大

掲示板については、書き込みに関するルールがまとまらなかったこ

とから今回は見送りを考えていたのですが、「病院に行くほどでもないし、保健婦に相談するのも気が引けるような内容を話したい」というメールが続いてあったことから掲示板づくりを再開。書き込みの制約も、公序良俗に反することや誹謗中傷に関する以外は原則フリー。また、それに類する書き込みがあった場合は、管理者で削除するとの注意書きを添えて、バブワオ掲示板がスタートしました。

この掲示板は、新規の書き込みのほか、既に書かれた内容に意見を書き込むことができるため、掲載された不安や疑問に対し、他の利用者が経験談を紹介するなど、どんどん内容が更新され、情報交換が進んでいます。今後は、このネットワークを通じて、課題に対する意見聴取の仕組み作りなどの検討していく予定にしています。

また、ホームページ自体の定期的な更新が行われていないことから、更新内容をアップする環境整備や体制整備を進めていきたいと考えています。

参加してつくる新しい生涯学習の「かたち」

～ 柏崎市生涯学習フェスティバル～ (柏崎市生涯学習課)

生涯学習とは何ですか。この問いに答えを出すのは難しいと思います。生涯学習のイメージが拡散し、ひとりひとりが多様な考えを持っているからです。「柏崎市生涯学習フェスティバル」は、この問いかけから始まっています。

フェスティバルは、公募による市民がつくる実行委員会が企画運営を行います。昨年五月に開催した第一回実行委員会では、「あなたにとっての生涯学習とは？」というワークショップを行いました。実に多様な意見が出ました。

自分を磨き、技能・技術を習得する。同じ目的をもつなかまと楽しみを共有する。多様な価値観を認め、多様な人と交流する。まちづくりに関わり、人を育てる。自分を発見し、自分が自分であることを実感する。…これらが統合し、決まった統一テーマが「新しいをひらく」です。

このテーマには、フェスティバルを通じ、新しい生涯学習の「かたち」を市民にプレゼンテーションしていく、と言う意味

がこめられています。

この統一テーマのもと、さらに数回のワークショップを重ね、昨年は、一カ月間にわたり、多様なイベントを開催しました。

子どもたちと大工さんとで家をつくって、その家で劇をする。地域のつけもの名人を発掘する。留学生と障害者のカラオケ。大学の在り方を問うシンポジウム。参加型の芸能ステージ。食による異文化交流。コミュニティをめぐるツアー。地酒のサミット。などなど。



実行委員会に参加しているのは、実に多様な市民です。市民の専門性や人的ネットワーク、自発性を引き出しながら、フェスティバルを組み立てていくのには、どうしたらいいか。…非常に悩みました。

応用したのが「まちづくりワークショップ」の手法でした。異なる立場の人々の意見を引き出し、コンセプトを抽出し、成果を導き出す手法です。

生涯学習課は、実行委員会を通じて市民の意見を引き出すことに精力を傾けていきました。言わば、事業の推進役でなく、支援役になったわけです。

さらに、実行委員会の模様や全体の進行状況は、「フェスティバルしんぶん」を発行して伝えることにしました。会議に出席できない実行委員も少なくないからです。他市のイベントなど参考になりそうな情報も調べて「しんぶん」に載せました。

開催してみて分かったのは、行政単独で開催していたのでは、これほど多様で、具体的なイベント



にはならなかったのではないかと言うことです。今年もほぼ同じやり方で十月の開催に向け、検討と準備をすすめています。実行委員も新しい方が加わっています。話し合いの経過では、単なる人集めではなく、成果を出そうとする試みが目立っています。

生涯学習を「ひらく」のには、行政だけ頑張っても無理がある。市民には市民のやり方がある。そのことをこのフェスティバルは教えてくれているようです。

ラ・ラ・ネットが全面インターネット化されました

平成八年四月から、パソコン通信で運用を開始した新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」が、十月一日に、全面インターネット化されました。これによって、「ラ・ラ・ネット」を、いつでもどこでも誰でも見ることができるようになりました。また、全面インターネット化に伴い、パソコン通信での情報提供は終了いたしました。

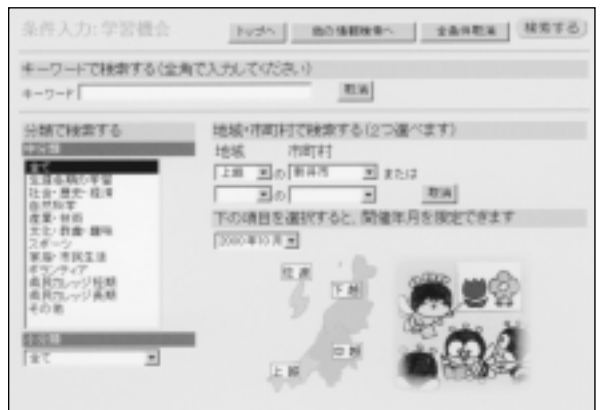
今回の全面インターネット化に伴い、大幅にリニューアルした画面が二つあります。

一つ目はトップ画面です。長岡市在住のウェブ・アート・デザイナー

の渡辺千雅からデザインしていただき、写真のようにおしゃれなトップページが完成しました。今回は秋バナーとジョンということ、今後は、季節ごとにトップページが替わります。どんなトップページになるか、ご期待ください。

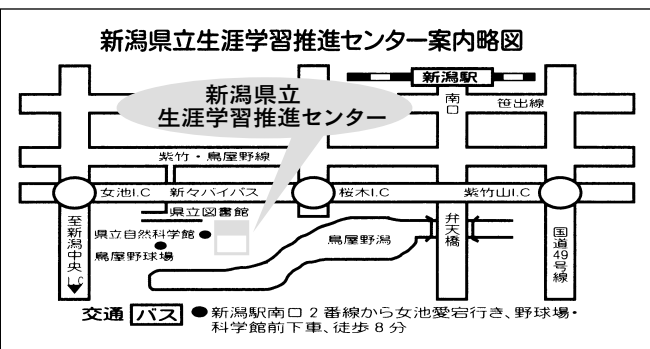
二つ目は検索画面です。初めてラ・ラ・ネットを利用する方でも利用しやすいように、入力項目を少なくし、簡単な説明も加えました。また、親しみやすい画面にするためにイラストも挿入しました。(イラストは、高橋郁子さん)

検索方法は、



- ① キーワードで検索する
 - ② 分類で検索する
 - ③ 地域・市町村で検索する
- また、複数の検索方法を組み合わせても行うことができます。リニューアルした検索画面で、生涯学習情報を積極的に引き出してください。
- ラ・ラ・ネットの情報入力については、発信源入力方式をとっています。情報メンテナンスのIDとパスワードを取得している団体からの積極的な入力をお願いします。
- また、インターネットでラ・ラ・ネットを見ることができるよう一般開放用端末が未設置の団体におかれましては、早期の設置をお願いいたします。

ラ・ラ・ネットのURL <http://www.lalanet.gr.jp/>



学習相談のご利用は、来所、電話、FAX、Eメールなどの方法があります。

住所 〒950-8602 新潟市女池南3-1-2
(11月6日から住居表示が上記のとおり変更されます。)

名称 新潟県立生涯学習センター 学習相談室

電話 025-284-6119 FAX 025-284-6019

Eメール soudan@mail.lalanet.gr.jp